

はしど



平成28年11月24日
学校便り 第8号
練馬区立橋戸小学校
校長 河崎 晃二

<http://www.hashido-e.nerima-tyky.ed.jp/>

☆学校教育目標 考える子・思いやりのある子・たくましい子

人権週間

校長 河崎 晃二

今年も残り1か月程となり、来週からは師走に入ります。寒さが厳しい季節へと移り変わりますので、インフルエンザ等の病気にかからなよう「うがい」「手洗い」「十分な睡眠」に心がけ、体調管理に十分ご注意ください。お過ごしください。

さて、明日25日から本校の学芸会が始まります。たくさんの方にご参観をいただき、子供たちの頑張る姿をご覧になって励ましの言葉をかけていただけると幸いです。

今回の学芸会を通して「皆で一つになって演技する大変さ・素晴らしさ」「練習の大切さ」「集中力の必要さ」「緊張の中での力の発揮」「上級生の頼もしさ・素晴らしさ」を子供たちは学んで欲しいと思っております。そして、また一步成長することを願っております。

ところで、12月4日(日)～10日(土)は人権週間です。これは、1948年に国際連合が、12月10日の総会において、世界人権宣言を採択したことに始まります。日本においても、同宣言が採択されたことを記念して、翌年の1949年から毎年12月10日を最終日とする一週間を「人権週間」と決めました。

本校では、いじめ防止に向けた取組や今回の学芸会への取組等を通して、子供たちに人権について指導を行っております。その一つ

として、本校の学校経営方針の中に「人が喜ぶ姿を見て喜べる児童の育成」があります。今回の学芸会においては、「見ているお客さんに喜んでもらう。」あるいは、「感動してもらうためにはどうしたらいいのか。」という事で練習や準備に取り組んでいます。また、一人で頑張っても劇が完成することはありません。一人一人が自分の役割をはたし、協力することの大切さを学んでいきます。さらに、観覧する立場として演じている人の思いを感じ、ともに認め励ますことも学んでいきます。

学芸会だけでなく、レインボー班活動やペア学年の活動、委員会活動、学級での係や当番活動等、様々な活動を通して、思いやりや一人一人を大切にすることを指導し、人権に対する意識を高めています。この機会に、ぜひご家庭でも人権について、子供と一緒に考えてみてください。

話は変わりますが、学芸会が終わった翌週の29日(火)から、マラソンタイムが始まります。中休みになると校庭は、元気に走る子でいっぱいになります。12月10日の学校公開では、マラソン大会も行う予定です。

自分の目標を立て、苦しいけれど我慢して自分のペースで続けていく持久力を高めていくことがねらいです。また、風邪をひかない寒さに負けない体作りめざしていきます。